親子連れでにぎわう歯のひろば

――6月4日～10日は歯の衛生週間――

「歯の衛生週間」を前に、このほど「第20回歯のひろば」が向日市保健センターで開催されました。

当日は、京都府歯科医師会乙訓支部の歯科医師をはじめ、衛生士や食生活改善推進員らが、正しい歯の磨き方や口のすすぎ方などの指導、歯科検診などを行いおおぜいの親子連れなどでにぎわいました。

また、虫歯になる条件、歯磨きの大切さなどを楽しみながら学ぶ人形劇も催され、チビッ子たちもお母さんといっしょに歯の大切さについて学習しました。

今月の4日から10日は「歯の衛生週間」です。この「歯の衛生週間」では、「8020」運動が、全国的に展開されます。これは、約20本の歯があれば食生活に支障がないと言われることから80歳になっても歯を20本残そうという運動です。一生を通して、自分の歯で季節の味を楽しめるよう、日ごろから歯の手入れを怠らないようにしましょう。

「どれどれ…ムシ歯はないかな」歯医者さんの検診を受けるチビッ子

星と語らう　シリーズ㉒

昨年、彗星の衝突で有名になった木星がそろそろ見頃になってきました。

6月1日に衝（太陽、地球、外惑星が直線に並ぶ）を迎え、夏休みの頃宵の南天に輝き、9月に入ると夕方の南西の空に移り、しだいに高度を下げます。

彗星の衝突あとはしばらくは濃い模様として残っていましたが、その後徐々に淡くなって、近頃では注意深く観察して色合いでなんとか判断できる程度の淡い模様です。木星にしてみれば突然の事件でしばらくは傷だらけであったのが、ようやく傷がいえてもとの木星らしい美しい姿に戻ってきたところです。

今年の木星はさそり座といて座の境界を行き来します。南中高度が35度以下と低いため地球の厚い大気にはばまれ、木星面の観察にあまり適しているとは言えません。空の透明度（大気の澄み具合）とシーイング（大気の落ち着きの度合）の良い日をねらって観察したいものです。

木星面の代表的な模様は横に走る縞模様です。一般に暗く見えるのが縞、明るく見えるのが帯です。望遠鏡で見る機会があったら、ぜひ簡単なスケッチをして記録を残しましょう。縞模様の変化を追うことができます。また、木星には多くの衛星があり、そのうち4個は小望遠鏡で見えます。内側から順にイオ、エウロパ、ガニメデ、カリストという名前で呼ばれて、木星のまわりを目まぐるしく回っています。

向日市天文館だより

向日市天文館では、6月3日(土)から8月27日(日)までプラネタリウム夏番組として、「恐竜絶滅」を投影します。

今からおよそ2億4500万年前に現れた恐竜は、1億8000万年もの長い間地球上を支配していました。ところが、6500万年ほど前、突然その巨大な姿を消してしまいました。恐竜絶滅の原因については色々な説がありますが、地層中からイリジウムが発見されたことにより、最近では「隕石衝突説」が有力になってきました。

夏の星座を紹介しながらそれらの謎に迫ります。

投影時間は約45分です。

向日市天文館では、土・日曜日は一般投影、火曜～金曜日は20人以上の学習投影（予約制です）を行っています。なお、水曜・木曜日は午後4時から一般投影を行います。

投影時間は、午前10時30分、午後1時、午後2時30分、午後4時。料金は、大人200円（団体180円）小・中学生100円（団体50円）です。

なお、7月30日(日)、8月31日(木)は、プラネタリウム機械点検のため、臨時休館になります。お問い合わせは向日市天文館☎935－3800へ。

老人福祉センター
向日市上植野町南開66-1
☎934－1515

6月の行事予定

■**防災避難訓練**■2日(金)午後1時30分～2時30分
■**映画会**■13日(火)午前10時20分～正午「東京オリンピック」
■**教養講座**■29日(木)午後1時30分～3時「軽い運動で痛みの軽減を」
■**健康相談**■13日(火)、30日(金)午後2時～3時30分
■**血圧測定**■6日(火)、21日(水)午後1時30分～3時

歳時記

水無月

「みなつき」または「みなづき」と読みます。旧暦6月のことで、新暦では7月のことです。俳句では、晩夏の季語になっています。

語源についてはいろいろな説がありますが、水が枯れる季節という説がよく知られています。それで、6月の異名として、「水待月」という言葉もあります。晩夏、暑さにあえいで風を待つところから「風待月」ともいわれています。新暦7月はまだ梅雨のころですが、その後に来る猛暑を水無月といったのでしょうか。

語源としては、このほかに「農業みなつきたる意」すなわち農作業をみなやりつくした月という説もあります。また「5月に植えたる早苗のみなつきたる意」ともいわれています。

水無月の埃積もれる芭蕉かな　鈴木花蓑

水無月や風に吹かれに古里へ　鬼貫

戸口から青みな月の月夜かな　一茶

一茶の句の「青みな月」とは、青葉がこんもりといきいきと茂る様なので、水がないというイメージとは違うような気もしますね。

水無月という言葉で思い出すのは、去年の猛暑による水不足、そして一昨年の天候不順による不作です。このような異常気象の原因は、地球環境の悪化と無関係ではないようです。

6月5日は「環境の日」6月は「環境月間」です。わたしたち一人ひとりが環境問題に対する理解を深め責任を自覚したいものです。

☆この夏あなたも天文博士☆「スターキッズ天文教室」

天文館では、市内在住の小学5・6年生を対象に「スターキッズ天文教室」を開催します。すばらしい自然の中で、星座の学習をとおして宇宙の神秘を味わってみませんか。日程は8月18日(金)、24日(木)、28日(月)、29(火)、9月6日(水)で28日・29日は奈良県大塔村の天文学習センターへ一泊二日の管外研修に出かけます。募集対象は市内の小学5・6年生50人（先着順）、参加費は5,000円。申込み・お問い合わせは、6月30日(金)までに向日市天文館☎935－3800へ。

向日市天文館のスターライトファンタジー

プラネタリウムを使ってスターライト・ファンタジー（CDコンサート）を催します。

あなたも、満天の星空のもとで過ごす憩いのひとときを味わってみませんか。

日時は、6月24日(土)午後7時～8時、向日市天文館で。内容は、夏の星空ファンタジー「サイモン&ガーファンクル」特集です。費用は無料、定員は80人。天文館事務室で整理券を一人2枚まで配布しています。

向日市の水道は

向日市の水道の水源は、地下水を利用しています。しかし、地下水は近年、使用量の増加に伴う汲み上げにより、水位が年々低下しています。この貴重な水資源を守り、将来増加する水需要に対して安定して利用していくためにも、新しい水源が必要です。

向日市では、日吉ダムの建設によって得られる水利権を確保し、保津川の清らかな水を原水とした府営水道の導入による恒久的な水資源の確保を図っていきます。

安全でおいしい水道水を、将来にわたり安定供給できるようこれからも努めますので、より一層のご理解とご協力をお願いします。

見直そう！ 水の尊さ 大切さ

水道フェア　水道週間 6月1日～7日

とき　6月4日(日) AM10:00～
ところ　上植野浄水場（第5向陽小学校南東）
催し　☆浄水場見学
☆遊びコーナー
◦ヨーヨーつり
◦ゲームコーナー、その他
☆休憩コーナー
（ジュース・ポンがしなど）
（雨天中止）
お問い合わせ　水道部（内線236・249）

向日市議会議員一般選挙

◦**立候補予定者等説明会**
平成7年6月25日(日)午後1時～
向日市民会館
◦**告　示**　平成7年7月30日(日)
◦**投票日**　平成7年8月6日(日)
お問い合わせは向日市選挙管理委員会（内線252）

あなたの一票大切に

■児童手当6月期(2月～5月分)は、6月9日(金)に口座振込みします。福祉保健部児童家庭課母子児童係(内線349)■